

2022年8月7日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒228番
『その御名を聞くは』

聖書⇒マタイによる福音書 17:20 節 (SK 兄)

『イエスは言われた。「信仰が薄いからだ。はっきりしておく。もし、からし種一粒ほどの信仰があれば、この山に向かって、『ここから、あそこに移れ』と命じても、そのとおりになる。あなたがたにできないことは何もない。』』

(祈)

礼拝讃美歌⇒302番 (旧 122B 番) (KH 兄)
『世の力強く』

《パン裂き》

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 11:27~26 節 (KH 兄)

『わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。』

礼拝賛美歌 142 番歌詞

渡されたもう 畏き夜
かくなしわれを 覚えよとて
主の開きたる そのむしろの
形をぞわれら 今も守る

贅となりにし 御体をば
語る象徴の 一つのパンを
われらは裂きて 君を覚ゆ

再び来ます その時まで

苦き杯 一滴も
誰が飲み得べき 君の他に
血潮流しし 君を思い
恵みに感じて 祝う杯

聖きむしろは これ主のもの
恵み力は 御名にぞある
一つ体の 交わりもて
尊き御死を 示しまつる

(式)

礼拝讃美歌⇒142 番 (旧 58 番)
『渡されたもう』

《建徳》

聖書⇒創世記 4:1~7 節 (KH 兄)

『さて、アダムは妻エバを知った。彼女は身ごもってカインを産み、「わたしは主によって男子を得た」と言った。彼女はまたその弟アベルを産んだ。アベルは羊を飼う者となり、カインは土を耕す者となった。時を経て、カインは土の実りを主のもとに献げ物として持って来た。アベルは羊の群れの中から肥えた初子を持って来た。主はアベルとその献げ物に目を留められたが、カインとその献げ物には目を留められなかった。カインは激しく怒って顔を伏せた。主はカインに言われた。「どうして怒るのか。どうして顔を伏せるのか。もしお前が正しいのなら、顔を上げられるはずではないか。正しくないなら、罪は戸口で待ち伏せており、お前を求める。お前はそれを支配せねばならない。』』

聖書⇒創世記 4:8~10 節

『カインが弟アベルに言葉をかけ、二人が野原に着いたとき、カインは弟アベルを襲って殺した。主はカインに言われた。「お前の弟アベルは、どこにいるのか。」カインは答えた。「知りません。わたしは弟の番人でしょうか。」主は言われた。「何ということをしたのか。お前の弟の血が土の中からわたしに向かって叫んでいる。』』

聖書⇒マタイによる福音書 23:35 節

『こうして、正しい人アベルの血から、あなたたちが聖所と祭壇の間で殺したバラキアの子ゼカルヤの血に至るまで、地上に流された正しい人の血はすべて、あなたたちにふりかかってくる。』』

聖書⇒創世記 4:13~16 節

『カインは主に言った。「わたしの罪は重すぎて負いきれません。今日、あなたがわたしをこの土地から追放なさり、わたしが御顔から隠されて、地上をさまよひ、さすらい者となってしまえば、わたしに出会う者はだれであれ、わたしを殺すでしょう。」主はカインに言われた。「いや、それゆえカインを殺す者は、だれであれ七倍の復讐を受けるであろう。」主はカインに出会う者がだれも彼を撃つことのないように、カインにしるしを付けられた。カインは主の前を去り、エデンの東、ノド（さすらい）の地に住んだ。』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 4:17~19 節（NH 兄）

『そこで、わたしは主によって強く勧めます。もはや、異邦人と同じように歩んではなりません。彼らは愚かな考えに従って歩み、知性は暗くなり、彼らの中にある無知とその心のかたくなさのために、神の命から遠く離れています。そして、無感覚になって放縦な生活をし、あらゆるふしだらな行いにふけてとどまることを知りません。』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 4:20~21 節

『しかし、あなたがたは、キリストをこのように学んだものではありません。キリストについて聞き、キリストに結ばれて教えられ、真理がイエスの内にあるとおりに学んだはずです。』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 4:22~24 節

『だから、以前のような生き方をして情欲に迷わされ、滅びに向かっている古い人を脱ぎ捨て、心の底から新たにされて、神にかたどって造られた新しい人を身に着け、真理に基づいた正しく清い生活を送るようにしなければなりません。』

礼拝讃美歌⇒168 番（旧 53 番）（KH 兄）

『妙なる救いの

《建徳要旨》